



四国最大級の四国水族館完成！

地域交流センター主任 楠見寿一郎

待ちに待った水族館が誕生しました。四国水族館の展示テーマは「四国水景」。日本最大の内海・瀬戸内海、世界最大の暖流・黒潮が流れる太平洋、人々の生活を支えた人造湖や、清流、四万十川をはじめとする清流の数々。多面性に満ちた水景の数々を体験できます。四国水族館の外観は、うたづの「塩」をイメージした純白です。

香川短期大学同窓会の皆さま、地域交流センター主任の楠見寿一郎と申します。この度は、この場をお借りして、私自身が5年前から水族館を核としたまちづくり活動を実践してきた関係で、宇多津町という香川県で一番小さな町に四国最大級の水族館が誕生したことを紹介いたします。

今から13年前の2007年、宇多津に水族館誘致の話がもたらが、本学名誉学長故北川博敏先生は「宇多津町に水族館を誘致する会」を立ち上げ、会長として3万人の署名を集めるなど誘致に奔走されました。誘致の話はその後、のりマンショックなどで2度計画が立ち消えましたが、北川学長はその後も、玉木衆議院議員(当時)に相

発行所
香川短期大学同窓会
オリブ会報
(0877)49-5500

責任者
中川 榮子
会長

印刷所
四国システム印刷株式会社
(0877)49-0142

談するなど熱心に活動を継続されました。しかし、先生は昨年、水族館の工事が開始した3月、急逝されました。私は北川先生の誠実な努力とひたむきな決意が四国水族館を実現させたのだと確信しています。

2019年3月、四国水族館松沢慶将館長(国際ウミガメ学会会長2017・18、日本ウミガメ協議会会長の日本ウミガメ学会)に呼びかけて本学を会場にシンポジウム「水、水族館が四国を盛り上げる!」その魅力と将来が開催され、四国内の6水族館の館長と約300人の住民が参加しました。シンポジウム第一部は6つの水族館の館長がPR合戦を行い、第二部では、水族館が果たすべき社会的役割についてパネルディスカッションが行われました。

現在、四国には9つの水族館があり、ユニークなキャラクターやマーケティングを行っている「桂浜水族館」、廃校をテーマに大爆発した「むろの廃校水族館」、足摺海洋館」は7月に大規模リニューアルした。四国の水族館は今、非常に注目されています。各水族館は豊かな自然を背景に、個性ある生物、水中世界を展示し種の保存教育・環境教育調査・研究レクリエーションという四つの役割を果たしています。今後は四国水族館の来場者が宇多津を起点に他の水族館へ出向いていくという流れを生み、来場者を取り合うこととはなく、むしろ連携することにより、相互の集客にもつなげ、震災・災害に備え、助けあえる関係性・環境を築くことが重要だと思えます。

また、四国には世界に誇る食、自然、歴史、文化がある一方で、人口減少や高齢化などの問題があり、水族館の存在や連携が「関係人口」につながり、問題解決の糸口になると思えます。

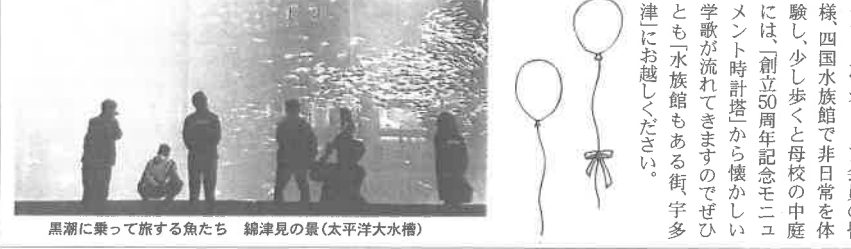
「四国水景」に加えもう一つのコンセプトが「人の水族館」です。知的好奇心を刺激するさまざまな仕掛けで「大人の非日常」が演出されています。例えば浦島太郎の龍宮伝説をテーマとした水景展示「龍宮の景」や県指定有形文化財「栗崎園(しゅうりんず)」など、水族館でありながら地域の歴史や文化にこだわった



四国水族館ロゴマーク

アートな空間」が体験できます。全国的にも珍しい瀬戸内海を背景にしたイルカショーも素晴らしいですが、他の水族館との違いはショーよりもイルカの普段の様子を見てもらうことを大切にしていることです。プールではボールなどをを使って遊ぶイルカたちの様子を常時見ることができ、その結果、例えば子どもの投げたボールをイルカが突いて子どもに返すようになれば、「イルカとキャッチボール」のできる水族館になるので、ちなみに公式ロゴに込められたコンセプトは常に変化し続ける水族館です。

母校のすぐ横に水族館ができました。オリブ会員の皆様、四国水族館で非日常を体験し、少し歩くと母校の中庭には、「創立50周年記念モノUMENT時計塔」から懐かしい学歌が流れてきますのでぜひとも水族館もある街、宇多津にお越しください。



黒潮に乗って旅する魚たち 綿津見の景(太平洋大水槽)

創立五十周年から 新型コロナウイルス 共存社会対応へ

附属図書館長 高儀雅俊

本学は平成29年に創立50周年記念事業を終え、今後の発展が期待されるところで、本年に入り中国が原発とされる新型コロナウイルスの波が医療や経済的な面だけでなく、教育を含めた社会全体に大きな影を落とし、本学も様々な面で対応を行っています。

本学の一人として (自己紹介)

私は36年間の香川県の公立学校教員(中・高校教員)及び教育センター課長を定年退職後、2年間の高校講師を経て平成29年に総務部長兼准教授で本学に奉職しました。その後2年間の総務部長を経て、昨年度は生活文化学科科長、今年度は附属図書館館長を拝命しております。

経験から、本学の設立が学校法人尽誠学園であることは、認識してまいりました。しかし、実際に奉職し学祖大久保彦三郎先生が京都市上京区吉田(現左京区)に尽誠舎を設立したのが発端ということまでは知らず、この地は私が学生時代に下宿していた場所にも近いことに驚くとともに、親近感が増しました。更に京都尽誠舎は第三高等学校(京大教養部)への進学等において、新島養が設立した「同志社」と肩を並べただけではなく、帝大予備門として1891年には東京帝国大へも合格者を出しており、大へも合格者を出しており、当時の京都における二大私塾であったこと、その後の「同志社」「同志社大学」への動き(発展)を顧るとき、学祖の病気がなければ「尽誠舎大学」への可能性が感じられ、勤務の意義を強く感じています。

1階トイレの改修に始まり、本館ゴミ収集場の改修、50周年記念誌・記念紀要へとつながりました。また、本館が宇多津に建築されて30年という区切りの年でもあり、施設・設備更新のため、理事長・常務理事の指示を受けて、翌年の本館エレベーター改修・栄養調理実習室の改修等へと結びつき、認定室も園香川短期大学附属幼稚園の敷地取得、更に、今年度の子ども学科保育演習室(5階)へと続いています。

また、宇多津町との包括連携協定を結んだことに端を発し、本学園・香川看護専門学校と連携し、丸亀市、坂出市、善通寺市への連携協定拡大を主導しました。

生活文化学科長として

わずか1年の在職ですが、奉職前年の生活文化学科生活文化専攻の廃止にもなっており、残った食物栄養専攻と生活介護福祉専攻の連携を強化し、高校生徒数減少の中で、受験生獲得の方向性を探ってきました。

また、管理栄養士課程を持つ大学への連携(編入)を探りました。

新型コロナウイルス対応と今後の課題・協力

新型コロナウイルス対応では、政府・香川県知事の緊急事態宣言と休業要請を受け、学長を中心とし、年度当初より対面授業(授業)を中止し、遠隔授業等を行っています。対面授業の再開は、今月(6月)に入ってからです。また、政府の「働き方改革」の流れを受け、時差出勤や会議や講義のWeb化等にも本学は対応しています。

このような情勢のなか、退職された玉置副学長の後任として、本年度より附属図書館長を拝命しました。今後は本学園の一員として、また「知の要の立場として支えていきたいと考えています。

総務部長として

奉職の年がちょうど、本学50周年に当たり、私は、総務部長として「右も左も分からぬ状態」でしたので、当時、病床にあった元総務部長(前事務局長)の勝瑞先生宅や病室を毎週のように訪問し、各方面と連携し、同年11月の50周年記念式典に漕ぎ着けたことを思い出します。この流れはハード面では、同窓会・後援会の五嶋会長(当時)のご支持・協力を得て記念事業の時計台設置、また本館



時計台と学舎

改装された調理実習室

ご案内



★令和3年度管理栄養士国家試験対策講座開催

日時: 令和3年4月11日(日)より、8、9、3月を除く毎月第2日曜日9:30~12:30
なお、令和3年度の前期の講座は4/11、5/9、6/13、7/11を予定しています。
場所: 本学食物栄養実践給食実習室
講師: 本学食物栄養専攻教員
受講料: 無料
ただし、基本的なテキストとして、クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説2021(医療情報科学研究所編、メディックメディア発行)を使用致しますので、各自でご購入をお願い致します。
対象: 本学の卒業生及び在学生
お申し込み及びお問い合わせ: 下記の連絡先に、TEL、FAXまたはE-mailにてお願い致します。
連絡先: 香川短期大学生活文化化学科食物栄養専攻 次田一代
TEL: 0877-49-8071 FAX: 0877-49-5561 E-mail: tsugita@kjc.ac.jp

★令和2年度管理栄養士国家試験対策講座開催

令和2年度の後期の講座(開講日: 10/4、11/8、12/13、1/17、2/7)が始まります。あらかじめご連絡をいただければ資料をご用意致しますので、自由にご参加下さい。(前年度から日曜日に開講となっております)
また、第34回管理栄養士国家試験では3名の卒業生が合格しました。おめでとうございます。今後受験して合格した人は是非ご連絡ください。ご健闘をお祈りしています。
山本 真奈美(平成23年度卒)

★「介護研究講座」のご案内

日時: 令和3年3月4日(木)13:00~13:45
場所: 本学2階講義室
生活介護福祉専攻の2年生が介護研究の発表をいたします。聴講お待ちしております。

★保育講座プロジェクト「保育者研修会」について

子ども学科では香川県若者県内定着推進支援事業の助成金を受け、保育者を対象に研修会を計画し、保育者のスキルアップを目的とした研修を開催します。保育者として活躍している卒業生の皆さんに下記の日程でご案内します。
日時: 令和2年11月 8日(日)9:30~受付 10:00~12:00(参加費無料)
令和2年11月29日(日)9:30~受付 10:00~12:00(参加費無料)
場所: 香川短期大学 保育演習室(5階新設会場)
対象者: 保育者 10名(1回の研修会人数)
講座内容: 「気になる子どもにも音楽療法的活動の活用について」
講師: 児玉 令江子
(音楽療法センター「音楽を紡ぐ里・フロイデ」センター長、香川短期大学非常勤講師)
連絡先: 0877-49-8051 香川短期大学子ども学科第1部 安藤千秋

★子ども学科保育士支援制度

子ども学科では保育士として就職する方を支援する保育士修学支援制度があります。この制度は入学後に申請する制度で保育士として就職する学生に貸付する制度です。
香川県保育士修学支援貸付制度: 入学時と卒業時に20万円、在学期間中に月額5万円の貸付される制度。5年間香川県内保育園に勤務すると返還免除。
丸亀市保育士就職準備金貸付制度: 卒業学年対象で丸亀市内の公立・私立保育園に就職内定している学生に就職準備金最高30万円の貸付制度。3年間勤務で返還免除。
丸亀市保育士修学支援貸付制度: 在学中の修学期間中に月額3万円貸付される制度。3年間丸亀市内保育園に勤務すると返還免除。
連絡先: 0877-49-8051 香川短期大学子ども学科第1部 安藤千秋



大学祭中止のお知らせ

令和2年度の香川短期大学祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。



卒業生にオリーブ賞(同窓会会長賞)授与
令和元年度は、子ども学科第三部の小嶋里華さんに授与いたしました。
小嶋さんはダンスゼミ部長として団員をまとめ、全国大学ダンスフェスティバルをはじめとした多数の大会に参加し、本学の名声を高めました。また、宇多津町子ども食堂等への支援ボランティアにおいて積極的に活動されました。



編集後記
同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。この度オリーブ会報第52号をお届けすることになりました。
編集部では、今後も皆様と共に楽しい紙面づくりを心がけたいと思っております。ご意見がございましたら、編集部に感想をください。併せて来年の同窓生のまごの記事も募集しております。(お店・イベントなどの紹介も可)
宛先: 香川短期大学オリーブ会報 締切先: 令和3年9月31日 必着
最後まで読んでいただき、お忙しいなか原稿執筆にご協力いただき、誠にありがとうございました。

●本部だより●

評議会

- 令和2年度評議会 於 短大2階会議室 4月11日(土)
1. 令和元年度会務会計報告
2. 令和元年度会計監査報告
3. 令和2年度行事予定
4. 令和2年度予算案作成
5. オリーブ会報について
6. 新役員紹介
顧問: 加野 芳正 五嶋 孝子 山下 哲司 光岡 和子 細川 明美 鈴木 日出子 幹木 有美 高西 美佐緒 西内 依乃 大石 真弥
会長: 山田 隆夫 副会長: 中島 裕子 監事: 中島 裕子 理事: 中島 裕子 新評議員紹介: 生活文化31 松永 早織 生活文化31 中島 純子 子ども11 中島 聖華 子ども11 小嶋 梨穂 経営情報32 佐野 和真

学内ニュース

- <令和元年度退職された教職員>(敬称略)
伊賀 遼郎 北濱 雅子 小西 ひろみ 勝瑞 哲彦
田邊 順子 玉置 忠徳
<令和2年度採用された教職員>
旭野 紗也佳 小松 陽子 藤岡 綾子



会計報告

Table with financial data for '令和元年度決算報告' and '令和2年度予算' comparing '収入の部' and '支出の部'.

同窓生のまご

「さくらんぼのまご」

安藤 彩夏

平成26年に子ども学科第1部を卒業し、子どもの頃からの夢だった保育士になつて早7年となりました。香短時代はダンスセミに所属していましたが、大学祭や定期公演に向けてダンスの振り付けを考へ、夜遅くまで練習した事、家に集まって衣装を手作りした時、時には熱くなり、ぶつかり合つて喧嘩をした事、全てが懐かしく思い出です。この2年間に得た仲間や時間はかけがえのない宝物です。今でも集まると香短時代の話で盛り上がりがあります。

私は昨年4月に第二子を産み、出産した子育しをしていく中で、嬉しい、楽しい、幸せ、と思つたと同時に教科書通りにいかない大変さもある事を実感しました。小さく生まれた娘は母乳を飲む量が少なくなかなか体重が増えませんでした。離乳食も思っていたよりも食べてもらえず悩みましたが、香短時代の先生に教えて頂いた、このよい言葉思い出して貰いました。元気いっぱい動き回る娘の姿を見て本当に嬉しかったです。これからの娘の成長を楽しみ、今年4月からは無事元の職場に復帰し、娘も同じ保育園に入園しました。仕事と家事育児の両立は大変で、送迎など家族に助けられながらですが充実した日々を送っています。職員と保護者の両方の立場になったことで、今更に登壇時に何気なく話していた園での様子も保護者からするととても貴重で難い事だと感じました。様々な経験を少しでも仕事に活かしていけたらと思います。

世界中で新型コロナウイルスが流行し、緊急事態宣言が発令された中でも保育を必要とする人がいる事で、この仕事が社会に必要な仕事であると改めて感じました。ただ、小さい子どもたちはマスクをつけることができません。子どもたちを守るために換気や、手指の消毒、手洗いうがい、徹底など新しい

生活様式を教えるという事がとても重要だと思います。今の行事のやり方も変えていく必要があると思います。子どもたちにとって楽しんでいけるように企画していきたいです。これからは一人ひとりの個性を大切にしながら子ども達の最善の利益となる保育をし、保護者と共に子ども達の成長を感じていけたらと思います。

制作部から営業部に配属された今では制作をしていた経験がとて役に立っています。打合せの中でお客様とお互いのイメージを共有しやすくなり、最終の仕上げがやり易い方法について話もできることが自分の大きな力となっています。会社としても従来までのデザイン・印刷・看板制作だけでなく、大型の加工機材の導入やデジタル部門の強化など常に前進していく姿勢なので、私も新しい技術や知識を吸収し、常に好奇心を持ちながら仕事をしていこうと思っています。

Advertisement for ビジュアル・サービス株式会社 (Visual Service Co., Ltd.) with contact information and services listed.